

プログラムの特色

近森病院内科専門研修プログラム

幅広い疾患群と圧倒的な症例数を有する近森病院を中心に、重症疾患だけでなく軽症の救急疾患やコモンディーズを数多く経験することで、救急医療や高齢者医療に強いジェネラリストの育成を行っています。内科医としてのGeneralityが求められる一方で、近年は専門的治療にも特化しており、世界標準の治療を目指して診療を行っています。当院内科専門研修プログラムは入院患者の対応を行う中で、専門性を磨きつつ内科一般の幅広い知識を身につけられるカリキュラムとなっております。サブスペシャリティ専門研修との連動(並行)にも対応しており、大内科制の特長を生かし、専門研修1年目から希望するサブスペシャリティ領域に所属したまま研修を行うことが可能です。専門研修1年目に内科専門研修で求められる経験症例数要件を満たした後は、2年目から希望するサブスペシャリティ領域の研修を重点的に行い、最短4年間(6年目)で内科専門医に加えサブスペシャリティ領域専門医資格の取得が可能です。当プログラムは県内はもとより、多くの県外施設とも連携しており、専攻医は幅広い選択肢から希望の施設・研修科を選択し、県外施設での研修も織り交ぜた研修を行うことも可能です。3年間の研修スケジュールは専攻医の希望に応じて柔軟に対応しています。

専攻医週間スケジュール (例:循環器内科)

	月	火	水	木	金	土・日
朝	第1:循環器ミーティング	循環器症例検討会	心エコーカンファレンス	抄読会	不整脈カンファレンス	
午前	病棟	RI検査	病棟	TAVI	CAG、PCI	
午後	生理検査	EVT	CAG、PCI	EPS、RFCA、PMI	ER	
夕方	心血管カンファレンス、TAVIカンファレンス	内科症例検討会	第1:心エコー・冠動脈疾患研究会 第3:循環器談話会	第4:CPC	Weekly summary discussion	

※近森病院ではERの準夜・深夜勤務や土日祝日の日勤の研修も行う

取得可能専門医

- 日本循環器学会専門医
- 日本神経学会専門医
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本老年医学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本消化器病学会専門医
- 日本肝臓学会専門医
- 日本呼吸器学会専門医
- 日本呼吸器内視鏡学会専門医
- 日本動脈硬化学会専門医
- 日本超音波医学会専門医
- 日本不整脈心電学会不整脈専門医
- 日本心臓血管インターベンション治療学会専門医
- 日本糖尿病学会専門医
- 日本リウマチ学会専門医
- 日本感染症学会専門医 等

キャリアパス サブスペシャリティ重点研修タイプ(循環器コース)

卒後年数	内科専門研修開始		内科専門医資格取得		循環器専門医資格取得													
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	
研修施設名	高知県下の研修病院		近森病院	幡多けんみん病院 土佐市民病院など※	近森病院または高知市・南国市の連携施設	近森病院	幡多けんみん病院 土佐市民病院など※		近森病院	近森病院	近森病院		国内留学		近森病院			
診療以外のキャリア	-	-	循環器専門研修 (合計2年相当まで並行研修可)															
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	6年		8.5年		9年	-	-	-	-	-	-	-	-	

※当プログラムで連携している償還免除となる高知市・南国市以外の医療機関には、幡多けんみん病院、土佐市民病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、大井田病院、栲原病院、大正診療所、清南病院、仁淀病院があります。その他の医療機関での勤務を希望される場合には、個別にご相談ください。

※県外の連携施設(償還猶予期間を利用)には聖路加国際病院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、関東中央病院、榊原記念病院、昭和大学病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院、福島県立医科大学附属病院、千葉大学医学部附属病院、亀田総合病院、藤田医科大学病院、国立循環器病研究センター、大阪府済生会泉尾病院、岡山大学病院、愛媛県立中央病院、市立宇和島病院、香川県立中央病院、徳島赤十字病院、飯塚病院、宮崎市郡医師会病院があります。

希望に応じて研修を行うことができますので、個別にご相談ください。

(高知県医師養成奨学貸付金受給者の例)



プログラムの詳細
https://www.chikamori.com/group/recruit/resident/senior/program/



臨床研修医 HP
http://www.chikamori.com/j-resident/

お問い合わせ
〒780-8522 高知県高知市大川筋1-1-16
社会医療法人近森会 近森病院 総務部/谷 知明
TEL: 088-822-5231 FAX: 088-872-3059
Mail/ t.tani@chikamori.com

現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は？

A 歩いてやってくる外来患者さんから、集中治療室へ入室する重症患者さんまで、幅広く診られる科です。県内最多の重症心疾患症例が集まっていること、最新の治療デバイスが多く導入されていること、そして何よりも「ここで働きたい!」と思える活気・パワーのある職場であり当院を選びました。熱意と知識があれば学年を問わず、虚血性心疾患・末梢動脈疾患・不整脈などの治療を経験でき、大変充実した毎日を送っています。

卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 初期研修終了後、引き続き当院で内科専門研修を開始しました。5年目に土佐市民病院で研修を行い、卒後6年目に内科専門医、卒後7年目に循環器内科専門医、卒後8年目に不整脈専門医を最短で取得しました。今後はスキルアップを目的とした国内留学を経験し、海外の「ガイドラインの先にある治療」「エビデンスの創出」を目にしたい気持ちがあります。

10年目以降は①臨床、②学会発表・論文作成、③後進育成にバランスよく取り組めたらと思っています。

休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は？

A 働き方改革に大変力を入れており、意外にもオンオフがはっきりしていることで休日はしっかり休めます。カフェに行ったり、スーパードライヤーに行ったり、ゆっくりと過ごすことが多いです。

研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A 勉強・臨床ともに絶対量をこなすことは重要です。もちろん質も重要ですが、経験の絶対量が多いと、多くの情報・知識が紐付けられ、いつか一気に成長を実感できます。最初は時間ばかり消費してしまい上手くいかないことも、あとから無駄じゃなかったなと思える時が必ずやってきます。近森病院は成長したいと思っっている皆さんを歓迎します。ぜひ見学にお越しください、一緒に働きましょう。

近森病院 内科

DR.小松に聞きました!
キャリアについて教えて!

循環器内科

小松 洵也 DR.
komatsu junya

Profile

出身大学/高知大学
初期研修病院/近森病院
卒後何年目/9年目
専門分野/循環器内科



プログラムの特色

近森病院整形外科専門研修プログラム

国内有数の手術症例数と急性外傷症例数を有している。基幹施設である近森病院では、年間2,000例以上の手術症例数を有し必要症例数をはるかに上回る症例を経験することが可能です。また、非常に多くの急性外傷症例数を有することに加え、近森病院での急性期治療、手術的治療、術後リハビリテーション、長期術後成績等の急性期から、関連病院である近森オルソリハビリテーション病院での回復期から慢性期にかけての整形外科疾患の経過を診ることを通じ、急性外傷治療分野に強いスペシャリストとしての道が開けます。また、全国の各分野の特色ある病院群での研修を通じ、急性外傷以外の小児、腫瘍、外傷、上肢・手外科、リウマチ外科、足の外科、スポーツ医学、関節外科、脊椎・脊髄外科などの非常に多くの専門性の高い分野の研修も可能で、専門医資格取得後はサブスペシャルティ領域専門医資格を目指すことも可能です。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
朝	モーニングカンファレンス(英語)					
午前	救急外来	手術	救急外来	手術	手術	
午後	手術	手術	総回診	手術	手術	
夕方				第3または第4: KKK (骨折研究会)		

取得可能専門医

- 日整会認定リウマチ医
- 日整会認定スポーツ医
- 日整会認定脊椎脊髄病医
- 日整会認定運動器リハビリテーション医

キャリアパス

卒業年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
研修施設名	高知県下の研修病院		近森病院	近森病院	高知中央医療センター	近森病院	嶺北中央病院など*			近森病院	海外留学または国内留学		近森病院など				
診療以外のキャリア	-	-	高知大学医学部附属病院														
償還期間消化年数	1年	2年	3年	3.5年	4年	4.5年	5年	6年	9年		-	-	-	-			

※当プログラムで連携している償還免除となる高知市・南国市以外の医療機関には、嶺北中央病院があります。今後、野市中央病院、渭南病院と連携予定。その他の医療機関での勤務を希望される場合には、個別にご相談ください。(高知県医師養成奨学金受給者の例)



プログラムの詳細
<https://www.chikamori.com/group/recruit/resident/senior/program/>



臨床研修医 HP
<http://www.chikamori.com/j-resident/>

お問い合わせ
 〒780-8522 高知県高知市大川筋1-1-16
 社会医療法人近森会 近森病院 総務部/谷 知明
 TEL: 088-822-5231 FAX: 088-872-3059
 Mail/ t.tani@chikamori.com

近森病院 整形外科



DR.横田に
聞きました!
キャリアについて
教えて!

整形外科

横田 真二郎 DR.

yokota sinjiro

Profile

出身大学/高知大学
 初期研修病院/近森病院
 卒後何年目/10年目
 専門分野/整形外科



現在の診療科、病院へ進んだ
きっかけ、働いた感想は?

A もともと救急領域に興味があり、なかでも外傷診療に携わりたいと思
い、整形外科を選びました。

卒後から現在まで、卒後10年目
以降のキャリアについて教え
てください

A 初期研修は近森病院、専門研修も
近森病院整形外科専門研修プログラ
ムでした。プログラム研修中には岡
山大学病院や名瀬徳洲会病院等でも
研修を行い、当院では経験できない
症例についても経験を積むことがで
きました。10年目以降も、救急病院で
外傷診療に携わっていたと思っています。

休日の過ごし方、リフレッシュ
の仕方は?

A 趣味のサッカーをしたりしてリフ
レッシュしています。

研修医や医学生にアドバイス
をお願いします

A 外傷に興味があれば、とてもおも
しろいと思うので、ぜひ一度見学に
来てください。

プログラムの特色

近森病院救急科専門研修プログラム

軽症から重症まですべてを受け入れる北米ER型救急を展開しており、あらゆる緊急性疾患に対応可能な救急科専門医の育成を行っています。単に疾患を診るのではなく、患者の社会的背景などを考慮した上で全人的な対応を行うために、各診療科の垣根を超えた連携と共に、多職種でも連携してチーム医療を実践しています。症例数に関しては、中四国でもトップクラスの救急受け入れ実績があり、豊富な症例経験と救急医療から災害医療に精通した指導医によるマンツーマンの指導体制により、質の高い研修を受けることができます。また、現在は院内救急医療のみならず、病院前救護体制への関わりも強く求められており、日常でのオンラインメディカルコントロール(指示要請や助言)やドクターカーでの現場出勤などを通じ、地域医療にも深く関わっています。

専攻医週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日
朝	画像カンファレンス					
	救急室申し送り					
午前	診療 (ER, ICU, 救命救急病棟 他)					
午後						
夕方	病棟との申し送り					
	救急室申し送り					
	症例検討会	多職種勉強会	抄読会	症例検討会	シミュレーション教育	

取得可能専門医

- 日本救急医学会専門医
 - 日本集中治療医学会専門医
- 救急科専門医取得後は、継続して麻酔科専門医やIVR専門医等の資格取得も可能です。

キャリアパス

卒業年数	救急科専門医 研修開始		救急科専門医 資格取得				集中治療専門医 外傷専門医など資格取得										
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
研修施設名	高知県下の 研修病院		近森病院		幡多けん みん 病院	近森病院	幡多けんみん病院など※			近森 病院	国内留学		近森病院				
診療以外の キャリア	-	-	高知大学病院または 高知医療センター														
償還期間 消化年数	1年	2年	3.5年	4年	4.5年	6年	9年			-	-	-	-				

● 幡多けんみん病院での地域医療研修期間は3~6カ月の間で希望により調整可能です。6カ月未満の場合には、3.5年間以上は高知市・南国市外での研修ができるように調整します。
※ 当プログラムで連携している償還免除となる高知市・南国市以外の医療機関には、幡多けんみん病院、大井田病院、くぼかわ病院があります。
その他の医療機関での勤務を希望される場合には、個別にご相談ください。
(高知県医師養成奨学貸付金受給者の例)



プログラムの詳細
http://www.chikamori.com/group/recruit/
resident/senior/program/



臨床研修医 HP
http://www.chikamori.com/
j-resident/

お問い合わせ
〒780-8522 高知県高知市大川筋1-1-16
社会医療法人近森会 近森病院 総務部/谷 知明
TEL: 088-822-5231 FAX: 088-872-3059
Mail/ t.tani@chikamori.com

Q 卒後から現在まで、卒後10年目以降のキャリアについて教えてください

A 僕自身は高知県出身で、高知大学を卒業しました。卒後の進路としては生まれ育った高知の医療に従事したいという思いから、近森病院で初

DR. 小林に
聞きました!
キャリアについて
教えて!

ER
小林 海里 DR.
kobayashi kairi

Profile
出身大学/高知大学
初期研修病院/近森病院
卒後何年目/6年目
専門分野/救急科



Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A あまり偉そうなことは言えませんが、全てのことに関心を持つことは大事かなと思います。また進路が決まらなくて焦っている研修医の先生方は一度救急科に進むことも考えてみてください。(笑)

Q 現在の診療科、病院へ進んだきっかけ、働いた感想は?

A 学生の頃から授業や実習で様々な診療科に興味があつて、進路は研修医になっても決まっていま

せんでした。研修医2年目になって様々な診療科をローテートしていくうちに、いろんなことに興味があるなら救急科はぴったりだと思ひ、いつの間にか決まっていきました。また地域実習で内科・外科問わず診療している先生の姿を見て、自分も幅広く診療をしたいと思います。きっかけです。

僕は初期臨床研修病院として近森病院で働かせて頂きました。学生の頃の知識として何となく救急車の台数が多いと聞いていましたし、先輩も多く働かれていたので近森病院を選びました。実際に初期臨床研修から救急科として働かせて頂いている今まで、症例の多さやコメディカルの方々のレベルの高さに毎日刺激を頂いています。

期臨床研修をさせて頂こうと思ひました。そして後期研修では近森病院の救急科に所属し、充実した日々を送らせて頂いております。正直なところを言えば、現時点では10年後の具体的なイメージはまだできていません。(笑)毎日の診療を一生懸命やらせて頂き、その中から目標ややりたいことを見つけ出していきたいです。まずは救急専門医を取得して、その後は自分の強みや興味のある分野の専門性を見つけたり、プレホスピタルや地域医療、在宅医療などにも興味があります。幅広い分野に関心を持って10年目以降も診療を続けていきたいです。

Q 休日の過ごし方、リフレッシュの仕方は?

A 救急科は交代制の勤務形態なので、残業や時間外はほとんどありません。そのためon/offがはっきりしており、とても働きやすく毎日充実しております。呼び出しも基本的には少なく、休日は映画鑑賞やスポーツ観戦など自分の趣味に費やしてリフレッシュしています。

Q 研修医や医学生にアドバイスをお願いします

A あまり偉そうなことは言えませんが、全てのことに関心を持つことは大事かなと思います。また進路が決まらなくて焦っている研修医の先生方は一度救急科に進むことも考えてみてください。(笑)

近森病院 救急科

